



諫早駅東地区再開発ビルI棟

諫早市は、長崎県南部の中央に位置し、長崎・島原・西彼杵の各半島の結節部であり、古くから交通の要衝として大きな役割を果たしてきました。また、東は有明海、西は大村湾、南は橘湾と三方を海に囲まれ、美しい多良山系を望

諫早市の概要

み四季折々の豊かな自然に恵まれています。市の中心部を流れる本明川は、市街地を通って有明海に注ぎ、下流の諫早平野は県下最大の穀倉地帯です。一年を通して温暖で冬の積雪も少なく、豊かな自然と交通アクセスなどバランスの取れた都市環境にあり、住宅地としても優れています。



長崎県

ISAHAYA CITY

諫早市

(寄稿：諫早市)



▲諫早市公式HP

長崎県

諫早市

諫早駅周辺 整備事業

令和4年度秋頃に予定されている九州新幹線西九州ルートの開業にあわせ、新幹線駅が併設される諫早駅における交通結節機能の強化を目指し、諫早駅周辺整備事業を行っていきます。

そのような中、諫早駅東地区再開発ビルⅠ棟「iisa」が令和2年12月に完成しました。iisaには、島原鉄道諫早駅とバス待合所（今後、供用開始を予定）が整備されているため、JR諫早駅も含め、雨に濡れずスムーズな相互乗り換えができるようになり、駅利用者にとって利便性が高い施設となっています。更に、iisaの中央に

は、交流人口の拡大と賑わいの創出を目的とした「交流広場」を整備しており、観光・物産の情報発信や各種イベントの開催などに利用していただける空間となっています。

また、ホテルや飲食店も一部営業を開始されており、今後、店舗やオフィスが順次オープンする予定でもあることから、今後、多くの人が集い賑わう場として親しまれる施設となるものと期待しています。

なお、iisaの隣には、再開発ビルⅡ棟としてマンションと立体駐車場が令和3年3月に整備され、これにより再開発事業による建物の整備はすべて完成いたしました。

今後は、令和4年度秋頃の新幹線開業までに、バスやタクシー専用の公共交通広場や、駅利用者の送迎

のための一般交通広場の整備を進め、新幹線効果を最大限に生かした新たなまちづくりに取り組んでいきます。



①iisa落成式で挨拶をする宮本市長②iisa2階のテラス③iisa自由通路④iisa1階の交流広場



南諫早産業団地の現地全景

南諫早産業団地の全体図



南諫早産業団地 整備事業

諫早市は、長崎県の製造品出荷額等において市町別割合が長崎市に次ぐ第二位と工業が盛んな地域です。

(出典…2019年長崎県工業統計調査)

これまで諫早流通産業団地、西諫早産業団地を整備し、企業誘致を行ってきました。両産業団地においては、23社の企業誘致・約1,000人の雇用の創出が実現しています。さらに今回新たな雇用の創出を図るために、地域高規格道路「島原道路」の栗面インターチェンジから約2キロメートルのところに、分譲面積約20ヘクタールの南諫早産業団地の整備が進め

られることになりました。

南諫早産業団地においては、1工区約11ヘクタールを先行して造成工事を行っており、今後更なる企業誘致により人口減少や少子高齢化の問題に対処し、自立できる都市づくりを目指しています。

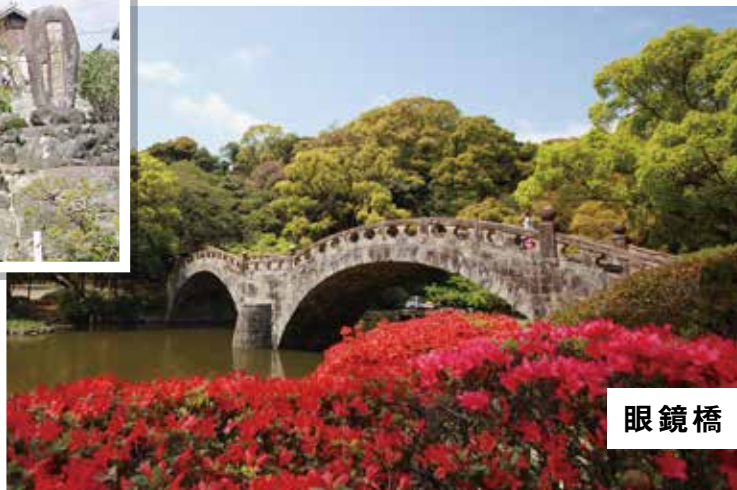
観光コンテンツの 充実

長崎県全体での観光客延べ数は順調な増加傾向であるのに対し、諫早市は横ばいの状態が続いており、中でも宿泊者数は他地域と比較して大きな差があります。(出典…長崎県観光統計)こうした状況を打開するため、諫早市では近隣観光地からの観光客の誘致、広域的な周遊を促

慶巖寺



諫早駅周辺の観光地



眼鏡橋

す取り組みが求められていました。

そこで、長崎県の中央に位置した交通の結節点という地の利を活かし、長崎市・大村市・嬉野市・武雄市など他の新幹線沿線市と連携した広域的観光圏の形成に向けて具体的な計画を策定し、動き出しています。

新幹線開業により諫早ー長崎間は約10分となる他、これまで鉄道駅がなかった嬉野市までのアクセスも格段に向上するため、こうした沿線市と諫早市を周遊するプランの作成にも取り組んでいます。

加えて、諫早駅周辺に点在する眼鏡橋をはじめとした神社・仏閣などの歴史資源を活用し、諫早駅を起点とした観光周遊モデルコースづくりに民間と連携しながら取り組んでお

り、ガイド付きまち歩きツアーやレンタサイクルの導入なども研究しています。

こうした多面的な取り組みにより、交通の要衝としての強みをさらに充実・強化させ、新幹線開業の効果を最大化することによって、諫早市のさらなる魅力向上及び地域活性化につなげて参ります。

子育て環境の充実

令和2年8月にオープンした諫早市すくすく広場内には、親子で自由に遊べる広場(親子交流ホール)と、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を目指し、妊娠、出産、子育てに関する総合相談の窓口(母子健康包括支援センター)

を設置しています。そのほかにも、「子どもの預かり援助を必要とするかた(依頼会員)」と「子どもの預かり援助を行っていただけるかた(提供会員)」を会員として子育てを支えあう事業(ファミリー・サポート・センター事業)や、離乳食教室、乳幼児の健康診断などの母子保健事業も実施しており、子育て世代の皆様が安心して子どもを産み育てられる地域づくりを目指しています。



すくすく広場